

研究のために、あなたのカルテの情報や検査の結果を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん:急性中毒のため救急科で診療された方

1. 研究の題名『急性中毒患者におけるQRS幅拡大の意義』

<研究期間> 令和6(2024)年3月19日 ~ 令和6(2024)年7月25日

2. 利用目的 及び 利用方法

<利用目的>

薬物中毒の患者さんがどんな薬物を過量摂取したのかという信頼性には疑義が残るため、そういった情報と実際の診療で得られた情報をすり合わせる必要があります。中でも12誘導心電図は重要な役割を果たしており、その異常があればどんな物質を摂取したかがわからなくても、重症化が予測できるかもしれないとされています。

この研究では、急性の薬物中毒の患者における12誘導心電図の異常の実態を把握することを目的としています。

<利用方法> 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

<対象期間> 令和4(2022)年1月1日 ~ 令和5(2023)年12月31日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して、診療記録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、受診時間、来院経路、症状、意図的かどうか、希死念慮の有無、既往症、常用薬、中毒物質、中毒物質を摂取した時間、中毒物質の量、エタノールの同時摂取の有無、身長・体重、バイタルサイン、瞳孔所見、12誘導心電図の所見、血液ガスの所見、血清薬毒物スクリーニングの所見、治療、ICU入室の有無、入院の有無、入院期間

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

研究責任者: 香月 洋紀

研究分担者: 山田 哲久

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

<診療科名または部署名> 救急科

<研究代表者名> 香月 洋紀

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

<連絡先> 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800(代表) 香月 洋紀